

日本漢方生薬ソムリエ協会主催  
第2回公開シンポジウム

# 第1回 麻黄シンポジウム

主催：日本漢方生薬ソムリエ協会  
期日：2023年10月22日（日）

場所1：「いこいの村能登半島」（会議室・志賀）10:00～15:00  
〒925-0165 石川県羽咋郡志賀町志賀の郷温泉（金沢駅よりバスで移動）  
場所2：富来マオウ圃場（圃場見学）15:20～16:00  
〒925-0453 石川県羽咋郡志賀町里本江（上記会場よりバスで移動）

参加費：3,000円（学生1,000円）（協会会員は無料）  
締め切り：9月30日。定員50名。先着順。協会会員優先。

前日の10月21日（土）には、18:00より懇親会を兼ねて意見交換会を開きます。  
夕食を用意しますので、参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。  
会場：〒920-0849 石川県金沢市堀川新町2-1 井門金沢ビル6階（金沢駅より徒歩2分）  
TKP 金沢新幹線口会議室6A（会費2,000円・夕食を含む）



*Ephedra intermedia* の群落 《青海省》

## ご案内

E-mail : [kamposhoyaku-symposium@yahoo.co.jp](mailto:kamposhoyaku-symposium@yahoo.co.jp)

日本漢方生薬ソムリエ協会は、発足後5年目に公開シンポジウムとして「黄連シンポジウム」を開催させていただきました。当該シンポジウムでは多くのシンポジストによる多彩な研究が発表され、多方面にわたる成果を生み、国産黄連への関心を深めることにつながりました。

その後、新型コロナ禍により、集まってシンポジウムを開催することが困難な状況が続いておりましたが、ようやく再開できる条件が整い、今回2回目の公開シンポジウム開催に至りました。

生薬を研究するという事は、その生薬の原材料となる植物の性質や品質に関する研究であり、原植物の自生地や栽培地における実物の観察がたいへん重要になります。今回の麻黄シンポジウムを計画するに際しては、御影雅幸先生のライフワークともいえる麻黄の学際的研究を広く知っていただくことを念頭に置きましたが、テーマが他分野にわたり大きすぎることに気づき、複数回にわたって開催する必要があることがわかりました。そこで、今回はマオウの本質に関する情報として、漢方生薬麻黄の歴史の変遷や麻黄配合処方臨床利用における問題点などに焦点を絞り、開催することとなりました。よって、最近話題となっている麻黄の抗ウイルス作用や国産化に関しては次回以降のテーマとしました。

しばらくお会いしていない方々と再会しての意見交換は、今後の発展的な研究に大いに役立ってくれると思われまますし、その結果として、生薬に携わる人々が少しでも麻黄の本質に近づき理解を深めてくださることを希望しています。

「麻黄シンポジウム」準備委員会



*Ephedra sinica* のジェネット（同一遺伝子）群落 《内蒙古自治区》

## プログラム

開会の辞：御影雅幸（日本漢方生薬ソムリエ協会理事長） 10：00

### 午前の部 10:05～12:00

座長：御影雅幸

1. マオウ属植物の分類と麻黄に関する史的考察 30分  
演者：御影雅幸（金沢大学）
2. 中国における麻黄の野生資源 ―群落調査を中心に― 15分  
演者：倪斯然（東京農業大学）
3. ウズベキスタンにおける麻黄の野生資源 15分  
演者：高野昭人（昭和薬科大学）
4. エフェドリンとプソイドエフェドリンの相違について 15分  
演者：安藤広和（金沢大学）
5. 参考：ルドルフ・ヴァイスの『植物療法』における麻黄 5分  
演者：安井廣迪（日本TCM研究所）
6. 1970年代に流通した麻黄原植物とその変遷 10分  
演者：小松新平（漢方生薬ソムリエ協会・名誉ソムリエ）
7. 現在の市場における麻黄 ―実物供覧―（宮嶋雅也）20分（生薬供覧の時間を含む）  
演者：宮嶋雅也（株式会社栃本天海堂・医専部）

~~~~ 12:00-13:00 昼食 ~~~~~

### 午後の部 13:00～15:00

座長：安井廣迪

8. 麻黄剤の臨床応用とその副作用 30分  
演者：野上達也（東海大学病院・東洋医学科）
9. 麻黄湯の急性ウイルス性疾患に対する働き 30分  
演者：鍋島茂樹・福岡大学病院総合診療部
10. 日本産麻黄を使用した関節リウマチ患者の経過 15分  
演者：安井廣迪（日本TCM研究所）
11. 農作物としてのマオウ栽培 ―栽培者の視点から― 15分  
演者：三本松繁（農事組合法人増穂ファーム）
12. 志賀町富来のマオウ圃場紹介 10分  
演者：金田あい（金沢大学）

### 総合討論 14:40～15:00

15:00 「いこいの村能登半島」をバスで出発

15:20～16:00 富来マオウ圃場見学

16:00 金沢にバスで出発 17:30 金沢到着・解散

## 中国及び日本における麻黄栽培地の現状



中国における大規模栽培地（内蒙古自治区）



石川県志賀町富来の圃場（2020年10月下旬）



日本漢方生薬ソムリエ協会  
Japan Kampo Shoyaku Somellier Association

<https://www.kampo-sommelier.jp/>